

阿知和が丘

校訓
 ゆたかな ことば
 あかるい 心
 たくまい からだ

愛知県岡崎聾学校 〒444-2111 岡崎市西阿知和町字御用田 1-23
 TEL 0564-45-2830 FAX 0564-45-6248 <http://www.okazaki-sd.aichi-c.ed.jp/>

コロナ禍だからこそ

教頭 筒井 秀俊

「ありがとう」…感謝を表す言葉です。とてもすてきな言葉です。「ありがとう」は、言われた人だけでなく、言った人も、少し幸せになれる言葉だと思います。いま私たちは、新型コロナウイルス感染症に対する不安と日々隣り合わせの中で生活しています。このようなコロナ禍だからこそ、人の優しさを感じ、「ありがとう」と口にするのが多くあります。学校では新型コロナウイルス感染症対策として、たくさんの方が寄付や県から支給していただいた物です。当初は、フェイスマスクを確保することに労を要しました。フェイスマスクを寄贈していただけるという案内を新聞等で見つけると、連絡を取って依頼し、受け取りに行っていました。安城商工会議所の協同組合「アンジョウハウプロジェクト」様からの寄贈が初めて、朝一番に安城市役所まで取りに行つたことを覚えています。しかし、次第に、その寄贈の申出が自然と来るようになりました。ある事業所の方から「だれかのお役に立ちたいと作製し提供先を探しているときに、卒業生が働いていることから本校が真っ先に浮かび、連絡をしました。」という話がありました。このようなところでも卒業生とつながっていると感じ、とてもうれしかったです。このようにコロナ禍だからこそ、人の優しさに触れること、人とのつながりを感じられることが何度かありました。

コロナ禍という大変なときだからこそ、「ありがとう」という言葉を大切にしたいですね。

特別な1年、特別な運動会に…

保健体育部教諭 鈴木 貴士

新型コロナウイルス感染症防止のため延期されていた運動会。十月三十一日(土)に、開催することができました。

半日日程での開催となり、各部の競技・演技は少なくなってしまいましたが、それでも見ごたえ十分な内容に会場は大盛り上がりでした。特に印象深いのが「中高応援合戦」でのワンシーンです。幼稚部の子どもたちが、初めて見るソーラン節を、見よう見まねで楽しそうに踊っていたのです。審査員という立場だったため、そちらに目を奪われないように必死でした。思わぬサプライズに心が柔らかく、温かくなりました。

応援合戦では白組が、総合得点では赤組が勝利を収めました。ひたむきになんばり、笑顔で喜びを分かち合う子どもたちの姿に誰もが感動を覚えたことと思います。願わくば子どもたちには、運動会に向けて一人一人が努力したこと、仲間と協力して取り組んできたことを忘れず、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。

保護者の皆様には、子どもたちへの心温まる拍手をいただき、また感染防止対策のため、来校の人数制限や受付での検温などいろいろと御協力いただいたことに対して深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

幼稚部の活動紹介

秋の遠足

九月二十九日に幼稚部全員で元気に岡崎市東公園に行きました。大きな恐竜の前で写真を撮った後、グループで動物見学をしました。鼻を上手に使って餌を食べるゾウや、片足立ちをするフラミンゴを見ることができました。

動物見学をたつぷりと楽しんだ後は、楽しみにしていたお弁当タイム。お弁当やおやつを友達と見せ合って、とても楽しい時間になりました。お弁当の後は新しくできた遊具でたつぷりと遊ぶことができ、楽しい遠足になりました。



運動会

十月三十一日に運動会がありました。「かけっこ」では、みんな一番を目指してがんばって走りました。一番になった子はとても喜んでいました。また、一番になれなかった子の、悔しさをじっと堪えている姿も印象的でした。

そして、演技は「グーチョキパーでパンプキン」を踊りました。幼稚部のみんながハロウインのおばけに変身して、年少さんは、元気に「ハロウインパーティ、始まるよ！」の掛け声を、年中さんと年長さんは、とびきりの笑顔で息の合った踊りを披露してくれました。楽しいハロウインパーティになりましたね。



中庭での自由遊び

暑さが和らいだ頃から、給食後に中庭で遊べる日が増えてきました。年少さんから年長さんまでが一緒に遊べる貴重な時間になっています。三輪車に交代で乗ったり、



友達と一緒に長縄とびを跳んだり、子どもたちなりにさまざまな関わりを楽しんでいます。

レオナ第二幼稚園との交流

九月十日に今年度第一回目の交流がありました。子どもたちはどきどきしながら教室へ入り、自己紹介をしました。その後、「あたま・かた・ひざ・ポン」と「アブラハムの子」を一緒に歌ったり、踊ったりすると、みんな自然に笑顔になり、楽しい時間を過ごすことができました。次回は一月に本校での交流となります。



「おつきみうさぎ」
年少 いがわ すばる
すとう らな



うんどうかい
「グーチョキパーでパンプキン」
年中 かげやま むつき



「ハロウィン ガーランド」
年長 かとう りくと

小学部の活動紹介

国際交流 九月十八日

五年一組 加藤 謙臣

国際交流でロバートさんとテレビで話しました。カナダの人です。自己紹介をしました。好きな漢字を伝えました。



画用紙に書いて伝えました。ドキドキしました。

修学旅行 十月一日、二日

六年一組 青山 智大

修学旅行でラグーナに行きました。バンバンうつ乗り物が楽しかったです。昼ご飯は、たこ焼きを買って食べました。とてもおいしかったです。



六年三組 内田 晴琉

今年の目的地は、蒲田市でした。京都と奈良にも行きたかったです。僕たちだけしか経験していない特別な修学旅行になりました。

一日目に、竹島水族館へ行きました。昔行ったことがあり、そこま

で期待をしていませんでしたが、中に入ると見たことのない生き物がたくさんいてわくわくしました。

見学後、飼育員さんにインタビューをしました。とても

親切に回答してくれてうれしかったです。

家族と行くときは違う雰囲気です、新鮮で楽しかったです。また、このメンバーで旅行に行きたいなと思いました。



稲刈り 十月五日

四年三組 島 結叶

加納さんの田んぼで稲刈りを行いました。はじめは、かまがこわかったけれど、稲刈りをしていくうちに慣れて、上手に刈ることができるようになりました。刈るときにギコギコと音が手にひびいて気持ちよかったです。刈つ



いもほり 十月二十九日

一年二組 鈴木 咲実

た稲をすげなわでしぼりました。指がいたくなりました。農家の仕事は本当に大変だと思いました。

わたしはいもほりがだいすきです。てでほ

つたら、さつまいもが

みえました。つるをひ

つばると、さつまいもが

ぬけました。ねにさつ

まいもが ついていて

すごいなおもいまし

た。



運動会 十月三十一日

二年二組 佐藤 歩夢

リレーで、ぼくは、白チームの五番目に走りました。きららさんに「はい。」と言われてバトンをもらいました。後ろを見たら、ゆうきくんが早く来たので、ぼくは（やばい。）と思ってぬかされないよう



に一生けんめい走りました。れいくんはバトンをわたすときには、ゆうきくんとひきわけでした。

六年一組 ラゴ ムニミ
運動会で、私は力と技「風林火山」をがんばりました。みんなといっしょに練習をたくさんしてきましたので、かっこよくできました。ドアンさんといっしょに風の動きをしました。上手にできました。「ハカ」は大きな声を出して演技ができました。小学部最後の運動会をがんばりました。

石工体験 十一月六日

三年二組 高岡 大葵

中しきさんたちが石のけずり方を教えてくれました。ノミで石を

わたるのが楽しかったです。岡ざき

でとれる石は五しゆるいあって、

色を見分けるクイズをしました。当てること



中学部の活動紹介

修学旅行

今年度は、コロナ禍のため目的地を東京・千葉から『三重』に変更し、三年生六人が三重県の文化や歴史を見聞し、友情を深めました。

「志摩スペイン村の思い出」

三年一組 飯海 柚珠

志摩スペイン村では、みんなどこに行きたいか確認しながら行動しました。

友達や先生とピレネーというジェットコースターに乗ったときは、すごく速くて、危ないと思いました。フラメンコのショーでは、踊っている人が、動きをはっきりと見せて表現するところが分かりやすかったです。私も運動会のダンスのとき、他の人が見やすいように踊りたいと思いました。



「友達と入った露天風呂」

三年二組 佐野 陽

二日目の朝、友達と初めて露天風呂に行きました。心がドキドキして、足が震えていたのでもうまく歩けませんでした。実際に露天風呂に行ったら、思ったよりきれいだったし、温泉に葉が浮かんでいてびっくりしました。とても気分がよかったです。室内にもまだ大きいお風呂があつてとても広くてすごいなと思いました。



ホテルでの夕食は、とても落ち着く雰囲気だったのでみんなとお話をしました。部屋に戻るとぐったりするくらい、話が盛り上がりました。ホテルにいる間、僕はずっと「贅沢だなあ。」と思いました。また、行きたいです。

岩津中学校との交流

「岩中とのオンライン交流」

二年二組 尾崎ちはる

岩津中学校との交流がありました。いつもは直接会って交流していましたが、今回はZOOMというアプリで交流をしました。映像での交流

なので、伝わりやすいように手話や話すスピード、文字の大きさにどこに気を付けました。最後は「世界に一つだけの花」の手話ダンスを踊りました。



ZOOMを使って交流するのは初めてなので、新鮮で楽しかったです。ZOOMでしかない経験ができたのでよかったです。

運動会

「初めての岡豊運動会」

一年三組 加藤 友梨

最高によい天気でした。応援合戦の本番前、緊張していたけれど、高等部の先輩が仲間に勇気を与える言葉をかけてくれました。とてもやる気が出ました。どの練習よりも、みんなで思い切り楽しんで踊ることができました。このチームでダンスができてよかったです。放送係の仕事では、いろいろな方の前で話すことにドキドキしましたが、リハーサルするときよりも大きな声で話すことができました。また、中学部競技では、本気で走り、勝つことができました。

最後のダンスまで本気で取り組みました。最高の思い出になりました。



高等部の活動紹介

進路イベント開催

一年 楠本 大輝

株式会社デンソーの人事担当者の佐野様と本校卒業生の松崎様からお話をうかがいました。株式会社デンソーは、卒業生が二十人以上働いているため、手話を覚えてくださる方が多く、聴覚障害者にとって働きやすい職場だということが分かりました。お話をうかがって、今一番努力したいことは、時間を守って生活すること、余裕をもつことです。聾学校の高等部に入ってから、ぎりぎりになることが多くなってしまったので、自分でしっかりと時計を見て、先を見て行動したいです。また、働くために必要な力をうかがい、自分を見つめ直すことができました。できていないことは直し、いろいろなことにチャレンジしていききたいと思いました。



筑波技術大学との

高大連携授業

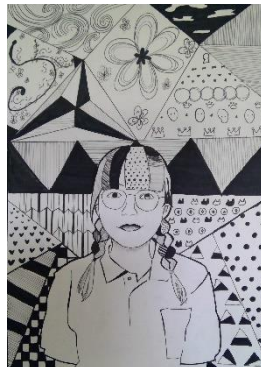
三年 杉森 心

今回のアクセシブルデザインの授業の大学生の研究の紹介の中で特に二つのことが心に残っています。一つ目は、仕掛け絵本です。私自身、耳が聞こえない環境でどうやって言葉を覚えたのか、どうやって手話を教えてもらったのかを考えたことがあります。この仕掛け絵本を見たとき、とてもすごい発想だなと思いました。この本がもっと一般的になれば、健聴の人にも手話が覚えられるのではないかと思います。一つ目は、漢字の読み間違いを減らすための教材です。人によって、間違え漢字は違うので、間違えた部分だけをそのページで確認できるのはとてもよいと思いました。これがアプリになるともっと使いやすいと思います。今回の授業を受けて、聴覚障害者が生活しやすくするための方法を考える機会になりました。

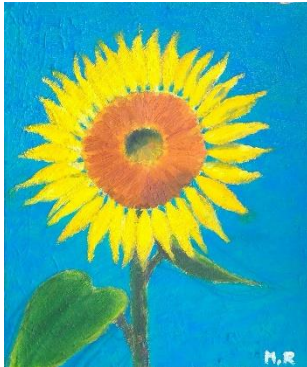
生徒作品紹介



山道空沙「島ひき鬼」



市川美羽「自画像」



三木竜太「太陽に向かって」

生徒会活動

後期生徒会会長 三輪悠太

今年度、生徒会で岡聾Tシャツプロジェクトを立ち上げました。



高等部の職員、生徒に賛同をいただき、十月にTシャツ披露会を行いました。Tシャツを着ることで、皆の心を一つにして高等部を盛り上げていきたいです。

また、いじめ防止スローガンなど他にもさまざまな活動に取り組んでいます。生徒会長として責任をもち、学校をよりよくしていきたいです。

西三河選手権大会

陸上競技部 梅谷大輝

今年度、陸上競技部に入り、初めての大会に出場しました。100mの競技では、とても緊張しましたが、よい経験になりました。今回の記録を超えられるように今後も練習に励みたいと思います。



寄宿舎の様子

寄宿舎では、小学部一名、中学部七名、高等部五名の全部で十三名が生活しています。月曜の夕方から金曜の朝まで日課に沿って規則正しい生活を送っています。

舎生に寄宿舎に入る前のイメージと実際に寄宿舎に入ってから生活してみた感想を尋ねました。一部を紹介させていただきます。

入舎前のイメージ…友達と過ごせるか不安だった。寄宿舎の荷物をたくさん買って大変だったが、わくわくしていた。ルールが厳しいと聞いていた。

入舎後の感想…友達とより仲よくなった。友達の気持ちをより深く分かるようになった。規則正しい生活を送れるようになった。時々家が恋しくなり帰りたいと思ってしまうときもあるけれど、寄宿舎での生活が楽しい。

現在、男子は定員に達していて、にぎやかな雰囲気の中で楽しく生活しています。

寄宿舎の様子は、学校のホームページやブログ、あちわ寮だより（寄宿舎のお便り）に掲載しています。ぜひ御覧ください。



センター的機能の紹介

今年度からセンター的機能は、進路・地域支援部として業務を遂行しております。乳幼児教育相談、通級指導、発達障害児等支援・指導検討会などの地域支援を行い、地域におけるセンター的機能の役割を果たしています。

乳幼児教育相談では0歳から2歳までの親子を対象に支援を行っています。四月から八月にかけてコロナ感染症対策として、個別活動を中心に行っていました。九月からは集団活動も再開しました。

ここでは利用される保護者の皆さんが、生活したり遊んだりする中でお子さんと共感し合い、活発にコミュニケーションをとることを大切にして活動しています。保護者のニーズに合わせて相談を受けたり情報提供を行ったりしますが、ここは保護者同士が出会う場でもあります。お子さんの成長や子育ての楽しさ、大変さを互いに語り合い、子育ての活力を得ていただきたいと思います。

通級指導では西三河の小中学校の通級学級に在籍する難聴児童・生46名を対象に巡回通級指導（45名）、他校通級指導（1名）を行っています。指導時間には、日記指導、発語・発音指導、聞こえに関わる指導、保護者や担任・特別支援教育コーディネーターとの連携、授業中の聞こえに関する様子の参観など、自立活動の内容を中心に行っています。また、小学校6年生と中学3年生については、進路支援として小中連絡会（小6）、入試時の配慮事項に関する支援（中3）を行い、進学段階での学校間の引継ぎ支援を行っています。

発達障害児等支援・指導検討会には、本校の部主事が講師として出向き、地域の小中学校の先生方の抱える悩みや課題に対して、具体的な支援の方法等を助言するなどの支援をしています。

発達障害児等支援・指導検討会には、本校の部主事が講師として出向き、地域の小中学校の先生方の抱える悩みや課題に対して、具体的な支援の方法等を助言するなどの支援をしています。

輝くチャレンジの成果

☆日本漢字能力検定

【2級】	大参 友葵
【3級】	鶴田 和佳
【4級】	加藤 心咲
【5級】	梅谷 大輝
【6級】	内田 晴琉
【7級】	加藤 愛華
【8級】	島 結叶

【9級】	飯海 零
------	------

☆実用数学技能検定

【準2級】	大参 友葵
【7級】	内田 晴琉
【9級】	加藤 愛華
	島 結叶

☆少年の主張愛知県大会

【努力賞】	鶴田 和佳
-------	-------

☆岩津天満宮献書会

【特選】	藪下 怜央
【入選】	鶴田 和佳
	下田 姫麗
	高岡 雄紀

☆裏千家茶道

【奨励証】	鶴田 和佳
-------	-------

☆エイズ予防強化ポスターコンクール

【佳作】	楠本 大輝
------	-------

☆東海地区聾学校

小学部通信陸上競技大会

【6年男子】	50m走	2位	安藤 琥大
【6年男子】	ソフトボール投げ	2位	安藤 琥大
【6年女子】	50m走	2位	
【6年女子】	ソフトボール投げ	3位	
【5年男子】	50m走	3位	山口 聖喜